

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



今年のブドウ生育期の天候を振り返ります



● 県内の平均的な天候は1週間のうち、晴天日：4日、曇天日：2日、雨天日：1日です。今年の天候の目安になります。

● **萌芽～生育初期：**
暖冬の影響で萌芽は早まりましたが、その後の低温や曇雨天のため生育は遅れ、5月下旬で平年比2～3日早い状況でした。

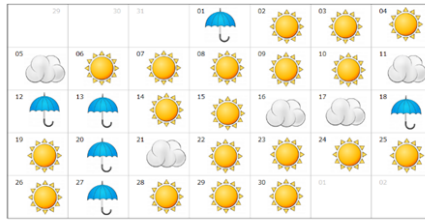
● **開花期：**
べと病が花穂や幼果に発生しました。生育初期から防除の徹底が重要です。

● **梅雨期：**
6月11日の梅雨入り以降は8月1日の梅雨明けまで曇雨天日が多く、カサ・袋掛けが遅れた園や散布間隔が空いた園では巨峰やピオーネを中心にべと病や晩腐病の感染が拡大しました。病気に比較的強いとされてきたシャインマスカットでも認められました。また、デラウェアでは降雨により裂果し、品質や収量が低下しました。

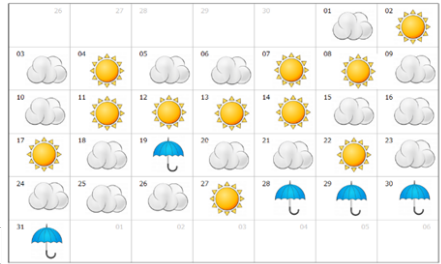
● **盛夏期以降：**
8月に入ると一転して連日、晴天日が続き、病害の影響は残っていましたが、出荷のペースは前年並からやや早い傾向で、品質は徐々に回復し収穫に至りました。

● 天候不順に翻弄された今シーズンでした。地球温暖化や気象変動は人類の未来のために対応していかなければならない世界的課題です。農業生産者の立場では、目前の作業を的確に実施していくことが現状出来る対応法の第一歩です。

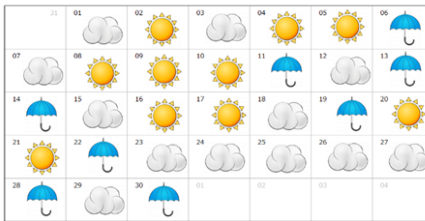
4月



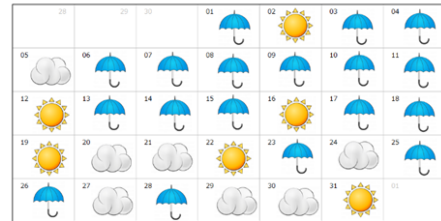
5月



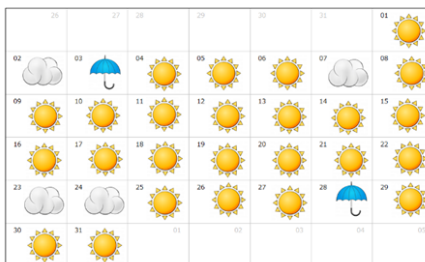
6月



7月



8月



9月

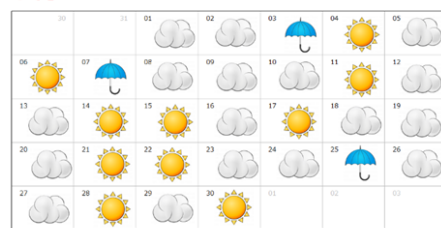


図 今年のブドウ生育期における天候(甲州市内観測点における天候を晴天、曇天、雨天の3つに大別して表示)